

「ICT利活用サミットin三重 -DXの実践で描く地域の未来-」を開催

東海総合通信局（局長：磯 寿生）は、一般財団法人全国地域情報化推進協会との共催で、「ICT利活用サミットin三重-DXの実践で描く地域の未来-」を、本年11月27日、28日に三重県松阪市及び多気町（VISON）にて開催しました。自治体や企業等約150名（セミナー現地:85名、セミナーオンライン:64名、視察:40名）の参加がありました。

1日目は地域社会におけるDX推進の取組等に関する講演及び「DXの実践で描く地域の未来」をテーマとしたパネルディスカッションを実施し、2日目はVISONにおいて施設見学及び自動運転バスの試乗体験をしていただきました。参加者には、ICTを利活用した課題解決の実践事例を共有するとともに、DXによって実現される東海地域の未来について考えていただく機会となりました。

DAY 1 2025年11月27日（木）

開催場所：三重県松阪市（松阪商工会議所）

委員長 講演	「地域をつなぐDX ー日本と北欧の実践から」 一般財団法人全国地域情報化推進協会 ICT利活用地域イノベーション委員長 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授 三友 仁志 氏
総務省 講演	「地域社会におけるDX推進と総務省の取組」 総務省 情報流通行政局 地域通信振興課 課長 高田 裕介 氏
講演1	「三重のDXデジタル技術で、地域課題の解決へ！ ～県政だよりみえ（9月号）から～」 三重県総務部 デジタル推進局
講演2	「地域DX実装の課題と可能性、新たなAIテクノロジーについて」 多気町 デジタル戦略室 室長 福井 秀樹 氏 大日本印刷株式会社 モビリティ事業部 部長 椎名 隆之 氏
講演3	「ローカル5G・IoTを活用した地域DXの取り組み」 株式会社ZTV 代表取締役社長 田村 欣也 氏
パネル ディスカッション	テーマ「DXの実践で描く地域の未来」



磯東海総合通信局長開会挨拶



三友委員長講演



パネルディスカッション

左から
・一般財団法人全国地域情報化推進協会
ICT利活用地域イノベーション委員長
早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授 三友 仁志 氏
・総務省 情報流通行政局 地域通信振興課 課長 高田 裕介 氏
・多気町 デジタル戦略室 室長 福井 秀樹 氏
・大日本印刷株式会社 モビリティ事業部 部長 椎名 隆之 氏
・株式会社ZTV 代表取締役社長 田村 欣也 氏
・株式会社うらら 代表取締役会長（前三重県CDO） 田中淳一氏

DAY 2 2025年11月28日（金）

開催場所：三重県多気町（VISON）

施設案内（VISON内周回・施設概要説明）

自動運転バス試乗（施設内を自動運転バスにて周遊）

施設見学（館内散策）



施設（VISON）案内の様子



自動運転バスに試乗する参加者

お問い合わせ先：情報通信振興課（電話：052-971-9108）